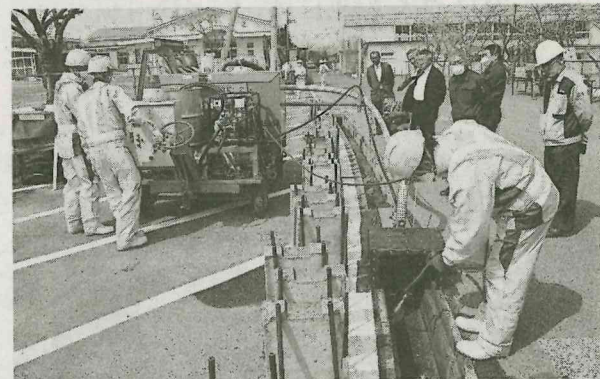


手で触れずに側溝除染 大玉で実証実験

郡山市の日大工学部と、民間企業でつくる「福島未来国際プロシエクト」が除染作業に活用するために開発した「側溝汚泥回収洗浄システム」の実証実験は十二日、大玉村の大



装置を使って側溝の汚染土壌を回収する作業員

小山脇の側溝で行われた。作業者が直接手を触れずに汚染土壌を回収できる専用装置の性能を確認した。

日大工学部と大玉村が締結している工学技術支援協定に基づく事業の一環。実験では、装置で取り外した側溝

郡山市の日大工学部のふたを洗浄した。側溝の中からは汚染土壌を吸い上げ、水分と土に分離して回収した。二十二日以降に側溝の放射線量を計測し、低減効果を確認する。実験は十三日も続け、約五十ヶ所にわたって側溝の除染を行う予定。

実験に立ち会った押山利一村長は「村は今年度後半から本格的に道路や側溝の除染に入る。今回の結果と今後の実用化を期待している」と話した。

東日本大震災生活情報

(変更の場合あり)

原子力・放射線

放射線に関する相談・問い合わせ窓口

放射線に関する問い合わせ窓口フリーダイヤル(0120)988359

平日午前8時半～午後6時半、土、日曜、祝日は午前8時半～午後4時

原子力災害全般 原子力規制庁コールセンター(03)(5114)2190

(祝日を除く平日午前8時半～午後8時)

被ばく医療健康相談ホットライン(放射線に関する一般健康相談) 放射線医学総合研究所(043)(290)4003 (祝日を除く月、水、金曜午後1～4時)

緊急被ばくスクリーニング実施施設

	10日採取分	
	5.6号機放水口 北側30m付近	1~4号機放水口 南側1.3km付近
セシウム134	検出せず <0.85	検出せず <0.70
セシウム137	検出せず <0.82	検出せず <0.58

※単位は1リットルあたりのベクレル。「<」の右側の数値は検出限界値。検出限界値を下回った場合は、「検出せず」と記載。ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

きょうの第一原発付近の天気と風向き(数字は風速m/s)

0時	3時	6時	9時
☀ 西2	☁ 西3	☀ 西3	☀ 北東3
12時	15時	18時	21時
☁ 東3	☀ 東3	☁ 0	☀ 0

7時)▽大熊 中屋敷スクリーニング場(午前9時～午後5時)

▽特別通過交通▽富岡 毛管・波倉スクリーニング場(午前7時～午後8時)

▽浪江 藤橋スクリーニング場(同)▽大熊 中屋敷スクリーニング場(午前9時～午後5時)

	直接死	関連死	死亡届等	死者合計
福島市	6人	9人	—	15人
伊達市	—	1人	—	1人
国見町	1人	—	—	1人
川俣町	—	18人	—	18人
大玉村	—	1人	—	1人
山形市	5人	6人	2人	13人
須賀川市	9人	1人	1人	11人
鏡石町	—	9人	—	9人
石川町	—	2人	—	2人
三春町	—	1人	—	1人
白河町	12人	—	—	12人
西郷村	3人	—	—	3人
津若松市	1人	3人	—	4人
相馬市	439人	25人	19人	483人
南相馬市	525人	447人	111人	1083人
広野町	2人	38人	—	40人
楢葉町	11人	100人	2人	113人
富岡町	18人	237人	6人	261人
内村	—	72人	—	72人
大熊町	11人	102人	—	113人
双葉町	17人	99人	3人	119人
浪江町	149人	320人	33人	502人
尾花町	—	24人	1人	25人
新地町	100人	8人	10人	118人
飯館村	1人	42人	—	43人
いわき市	293人	125人	37人	455人
計	1603人	1691人	225人	3519人

県内行方不明者(県警発表) 207人

※人数は12日午後5時現在。死者は県の発表。直接死は地震や津波での死者。関連死は避難中や避難先などで死亡し認定され、災害弔慰金が支給された死者。死亡届等は、遺体が見つかっていないが、死亡届が出されている人や災害弔慰金の支給対象となった人ら。

放射線 放射性物質 Q&A

回答者

県放射線健康リスク管理アドバイザー 長崎大教授

高村 昇さん

UNSCLEARは先日、島県下では事故による被ばくの影響で死亡したり、深

Rはこれまでのところ、福島県下では事故による被ばくの影響で死亡したり、深

理論的にはあり得るとして、今後の状況を見守る必要があるとしています。

現在、福島県では県民健康調査が継続されており、二十六年から本格検査(二回目の検査)が順次行

は A R) 費に関 がん発 ながん した。

放の の